

免疫

Immunology

ユニット責任者：内科学（リウマチ・膠原病・アレルギー内科） 教授 川畑 仁人

ブロック名		期間	ブロック責任者
第2ブロック	免疫②	4月2日 ～ 4月5日	川畑 仁人
第3ブロック	免疫③	9月24日 ～ 9月27日	川畑 仁人

1. ユニット概要・学習内容

私たちの体は様々な微生物への反応を可能にするために、免疫という生体防御機構を発達させてきた。このために、生体は外来抗原を認識しつつ、自己反応性や過剰な炎症などの不適切な免疫応答を回避する様々な制御機構を通して恒常性を保っている。これらの機構が破綻すると自己免疫疾患や自己炎症症候群、アレルギー性疾患が発症する。一方、免疫応答が充分機能出来ない場合は免疫不全症になり、病原体や腫瘍などを排除できなくなる。本ユニットでは、免疫系の異常によって生じるこれらの疾患の病因、病態から臨床像、診断、治療までを、第1ブロックで学んだ内容を踏まえながら学習する。

2. 到達目標

- 1) 神経筋骨格系の診察ができるようになる。
- 2) 膠原病およびその類縁疾患の分類および病態、診断、治療について説明できる。
- 3) アレルギー性疾患の病態および診断、治療につき説明できる。
- 4) 原発性免疫不全症および自己炎症症候群の臨床像につき説明できる。

3. 学習上の注意点

講義該当項目について教科書による予習を行い講義に備えることが望ましい。講義中や予習で生じた疑問点は、講義中やその後の教員との質疑応答で解消するよう努める。講義後は、講義プリントや教科書をもとに、到達目標を意識して、知識の整理を行うと良い。また、第2・第3ブロックは第1ブロックの内容と密接な関係にあることから、もう一度第1ブロックを見直しながら、授業で説明される病因や病態を学ぶことで理解が深まる。

4. 教科書・参考書

教科書：『内科学、第 11 版』朝倉書店、2017

参考書：『リウマチ病学テキスト改訂第 2 版』診断と治療社、2016

(書評) リウマチ学参考書の中では基礎から臨床まで最もバランスよく書かれている。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	80 (%)	前期・後期の定期試験として実施する。
TBL	2	20 (%)	
学年末再試を実施する			

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	教授	川畑仁人	在席時 可 (要予約)	難病治療研究センター 3 階 教授室	教授秘書 内線 4119
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	講師	永渕裕子	火曜日 12 時から 13 時 (要予約)	難病治療研究センター 1 階	医局秘書 内線 4285
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	准教授	大岡正道	在席時 可 (要予約)	難病治療研究センター 1 階	医局秘書 内線 4285
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	准教授	山崎宜興	在席時 可 (要予約)	難病治療研究センター 1 階	医局秘書 内線 4285
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	講師	鈴木豪	在席時 可 (要予約)	難病治療研究センター 1 階	医局秘書 内線 4285
リウマチ・膠原病・アレルギー内科	講師	今村充	在席時 可 (要予約)	難病治療研究センター 1 階	医局秘書 内線 4285